「デジタルネイティブ世代（中学生～２０代）と市長のタウンミーティング」における主なご意見

NO	
1	入院や不登校などで登校できない子どもが、タブレットを活用して授業を受け、学校や仲間とのつながりを保てるオンライン学習環境を充実してほしい。
2	中学校の内申点は学校や教員によって評価基準が異なるように感じるため、基準を明確にし、生徒や保護者が納得できる公平で透明な評価にしてほしい。
3	外国にルーツを持つ子どもが、言語や文化の違いで学校や地域から孤立しないよう、日本語学習と生活面の支援体制を強化してほしい。
4	富士見テラスの改修では、市民が誇りや期待を持てる魅力的なシンボル空間をつくり、誰もが利用しやすいバリアフリー化を徹底してほしい。
5	落合川、湧水、柳久保小麦などの地域資源を保全するとともに、店舗誘致やふるさと納税等を活用し、観光振興と地域経済の活性化につなげてほしい。
6	若者や子育て世代の転入・定住を促すため、子育て支援に加え、子どもが遊べる公園や学習・自習スペースなどの施策を充実してほしい。
7	不登校の子どもが自分のペースで過ごし、生活リズムを整えながら社会とのつながりを保てるよう、別室登校など多様な居場所を充実してほしい。
8	小児がん治療に伴う脱毛などに悩む子どもと家族の負担を軽減するため、ウィッグ等の購入費を助成するアピアランスケア制度を導入してほしい。
9	市公式SNSで中高生が企画や出演に参加し、若者ならではの視点と感性を生かして、東久留米市の魅力を発信できる機会を設けてほしい。
10	図書館の自習室で利用者が集中して学習できるよう、各席に仕切りやついたてを設置してほしい。
11	高校生のアイデアを市政や地域課題の解決に生かすため、市と高校が連携し、生徒の提案を支援・評価して実現につなげる仕組みを設けてほしい。
12	生徒数の増加が見込まれる南中学校で教室不足や定員超過が生じないよう、児童生徒数を的確に推計し、学校再編や学区域変更を含めて対応してほしい。